

福祉の未来を拓く

社大福祉フォーラム2014

(第53回日本社会事業大学社会福祉研究大会)

《大会テーマ》 「希望としてのソーシャルワーク 一当事者主体の支援へー」

《日 程》 2014年6月28日(土)・6月29日(日)

<1日目> 6/28(土) 開催場所…午前:講堂、午後:各教室

9:30	10:00	10:10	10:40	11:40	11:45	12:15	13:25	16:30	16:45	17:05	18:30
受付 (講堂)	開会式 プログラム 説明	基調報告 大嶋 嶽 学長 パソコン 通訳あり	記念講演 向谷地 生良 先生 パソコン 通訳あり	学生研究奨励賞 贈呈式 木田賞贈呈式 ADSW認定証 授与式	休憩 サークル セッション	浦河べてるの家の皆さまによる「当事者研究」セッション (B301) 木田賞実践スピーチ (B101) ADSW実践スピーチ (C601)	学内学会 総会 (生協喫茶)	懇親会 新任教員 紹介 (生協食堂)			

<2日目> 6/29(日) 開催場所…午前・午後:各教室

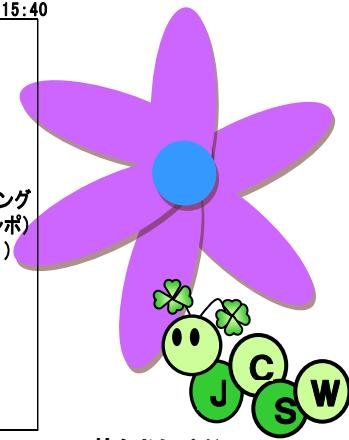
9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	15:10	15:40
受付 (A棟)	シンポジウム「災害と当事者性」 (C602)	報告者 交流会	介護フォーラム (A401) 社大PSWフォーラム (SST, WRAP, SV分科会) (C301・303・304)	分科会Ⅲ 人材養成と施設職員 (A201) 分科会IV 災害ソーシャルネットワーク と生活困窮者支援 (A202)	クロージング (ミニシンポ) (B101)	

《会 場》 日本社会事業大学 (講堂・A棟・B棟・C棟 各教室)

《ご案内》

- ① 参加資格 どなたでも参加できます。当日ネームプレートを配布いたしますので必ず受付をお通り下さい。各教室でスタンプを押します。両日合わせて4つ以上の分科会や自主企画に参加いただきました方は、29日に行うクロージング(ミニシンポ)にお越し下さい。先着50名様にプレゼントをお渡しいたします。
- ② 受付 6月28日(土) 午前 講堂 9:30~ 午後 A棟 1Fホール 11:30~
6月29日(日) A棟 1Fホール 9:30~
- ③ 参加費等 無料
- ④ 懇親会 6月28日(土) 17時05分~ 学会・同窓会・大学共催で行われます。
- ⑤ パソコン通訳 1日目、基調報告、記念講演にはパソコン通訳がつきます。
- ⑥ 昼食等 6月28日(土) 生協食堂・購買が利用できます。
営業時間 生協食堂 12:15~13:25 / 購買 11:30~13:30
6月29日(日) 購買のみ利用できます。
- ⑦ その他 営業時間 購買 12:00~13:30 (生協食堂は閉店)
駐車スペースがありませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。
内容・スケジュールは変更になる場合がございます。ご了承ください。
障害等のために特別な配慮が必要な場合は、あらかじめお申し出ください。
(当日お申し出の方はできる範囲で対応いたします。)

社もむしくん





開会式

10:00 ~ 10:10

[講堂]

司会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）

- ・開会の挨拶
- ・プログラム説明

基調報告（パソコン通訳あり）

10:10 ~ 10:40

[講堂]

司会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）



「希望としてのソーシャルワーク」と本学会の取り組み 一当事者主体の支援への途一

本学学長・学部教授・社会福祉学会会長 大嶋 巖

記念講演（パソコン通訳あり）

10:40 ~ 11:40

[講堂]

司会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）



「生きる苦労を取り戻す 一べてるの家の30年の歩みからー」

向谷地 生良 先生

北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科教授

社会福祉法人浦河べてるの家理事



学生研究奨励賞・木田賞・ADSW認定授与式 11:45 ~ 12:15 [講堂]

司会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）



【学生研究奨励賞受賞者】

- ・柴田 政子（2014年3月 福祉援助学科卒業）
- ・小檜山 諒（2014年3月 福祉援助学科卒業）

【木田賞受賞者】

- ・岩崎 俊雄（社会福祉法人すぎのこ会理事長／学部1970卒）
- ・岩崎 操（社会福祉法人すぎのこ会常務理事／学部1970卒）
- ・石橋 須見江（社会福祉法人パステル常務理事・社会福祉士／院前期2010年卒）
- ・石川 恒（社会福祉法人紫野の会障害者支援施設かりいほ法人理事・施設長／学部1982年卒）

【ADSW認定授与式】

- ・岸 恵子（千葉県地域生活定着支援センター／専門職大学院2012年卒）
- ・古明池 さおり（医療法人財団青渓会駒木野病院／専門職大学院2011年卒）

サークルセッション

12:15 ~ 13:25

[講堂]

【参加サークル】 混声合唱団菩提樹・マンドリンアンサンブル・手話サークルてまり



混声合唱団菩提樹は、定期演奏会や学園祭での発表に向けて日々練習に励んでいます。

- ・校歌
- ・HEIWAの鐘
- ・故郷



手話サークルてまりでは、手話コーラスを通じて、手話や聴覚障がいについて学んでいます。

- ・やさしさで溢れるように



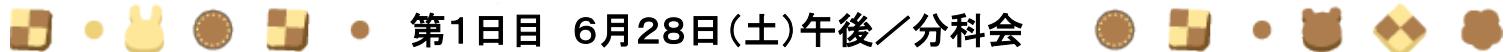
マンドリンアンサンブルでは、年に一度の定期演奏会を主とし、その他の様々な場所からの依頼演奏などの活動をしています。

- ・宇宙戦艦ヤマト
- ・世界にひとつだけの花



混声合唱団菩提樹・マンドリンアンサンブル・手話サークルてまりの合同曲

- ・いのちの名前



● 第1日目 6月28日(土)午後／分科会

障がい児・者への支援

13:25 ~ 16:30 [A301]

司会者：川上 琴未（学部4年）

助言者：佐藤 久夫（大学院特任教授）



場面絶默児の理解と支援

—家庭・保育園・療育の場における連携—

中嶋 裕子（福山平成大学福祉健康学部講師／通信教育科 2004年卒）



高機能自閉症スペクトラム障害（ASD）圏の母親の手記分析にみる子育て困難と支援ニーズ

岩田 千亜紀（院後期2年）



小中学校を対象とした訪問支援の実際

—発達障害の認知特性への共通理解形成について—

大曾根 邦彦（特定非営利法人きつつき会代表理事・施設長／専修科 1979年卒）



親の会活動『医療プロジェクト』エンパワメント評価

—知的障害児・者の医療アクセシビリティ向上を目指して—

於保 真理（非常勤講師／院前期 1996年卒）



第1日目 6月28日(土)午後／自主企画



学びのセッション — 当事者主体の支援を考える 13:25 ~ 16:30 [C301]



学びのセッション 一当事者主体の支援を考える

地域の高校生と大学生が交流を通して、学びの共有を行う

平塚 沙知子（学部4年）

北條 美央・日下 公佑・染倉 有希（学部2年）

スタディーツアー報告（佐々木ゼミ）

13:25 ~ 16:30 [A201]

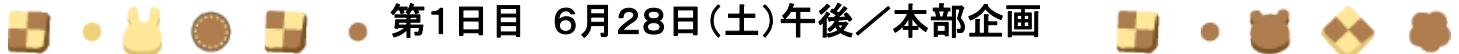


発展途上国の現状から学んだこと

—フィリピン共和国ミンダナオ州スタディーツアーに参加して—

菊池 優理恵・佐藤 茉奈・道祖田 聖也・會田 美月・北村 円香
浅野 真紀・白取 あゆみ・吉田 圭佑・芝田 萌乃・上原 理奈（学部4年）





第1日目 6月28日(土)午後／本部企画

「当事者研究」セッション

13:25 ~ 16:30

[B301]

司 会：下垣 光（専門職大学院准教授）



今回、記念講演でご来学頂く 向谷地 生良先生と、浦河べてるの家の皆さまによる「当事者研究」のセッションです。
専門職主導ではない当事者主体の支援のあり方を、この機会にご一緒に体験してみませんか？

木田賞実践スピーチ

13:25 ~ 15:00

[B101]

司 会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）



- ・岩崎 俊雄（社会福祉法人すぎのこ会理事長／学部 1970 卒）
- ・岩崎 操（社会福祉法人すぎのこ会常務理事／学部 1970 卒）
- ・石橋 須見江（社会福祉法人パステル常務理事・社会福祉士／院前期 2010 年卒）
- ・石川 恒（社会福祉法人紫野の会障害者支援施設かりいほ法人理事・施設長／学部 1982 年卒）

ADSW実践スピーチ

15:00 ~ 16:30

[C601]

司 会：宮島 清（専門職大学院准教授）



専門職大学院の認定資格「アドバンス・ソーシャルワーカー」の認証を受けたお二人による実践報告を行います。

- ・岸 恵子 「地域生活定着センターの実践論の確立～支援技術・支援方法の確立と標準化についての考察
(千葉県地域生活定着支援センター／専門職大学院 2012 年卒)
- ・古明池 さおり 「精神科病院に入院している知的障がい者の退院・地域生活支援の考察」
(医療法人財団青渓会駒木野病院／専門職大学院 2011 年卒)



第1日目 6月28日(土) 午後 [生協喫茶・食堂]

学内学会総会

16:45 ~ 17:05

[生協喫茶]

司 会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）

2013 年度事業・決算報告、2014 年度事業計画・予算案など簡潔にご審議頂きます。



懇親会・新任教員紹介

17:05 ~ 18:30

[生協食堂]

司 会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）

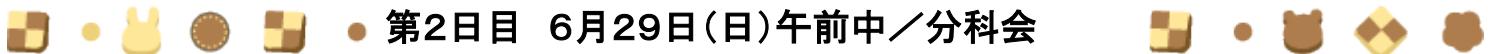
懇親会では、お食事・飲み物をご用意しております。どなた様もお気軽にご参加ください。



新任教員紹介

- 吉田 光爾（社会福祉学部准教授）
- 宮島 渡（専門職大学院特任教授）
- 大野 ロベルト（社会福祉学部助教）





● 第2日目 6月29日(日)午前中／分科会

高齢者への在宅支援

10:00 ~ 12:00 [A201]

司会者：仲田 琴海（学部2年）

助言者：大島 千帆（社会事業研究所特任准教授／学部特任准教授／院後期2006年卒）



ひとり暮らし高齢者の見守り活動の意義と課題

—西東京市の「ささえあい訪問協力員」の活動を通じての考察—

三輪 秀民（非常勤講師／院前期2004年卒）



高齢者の孤立予防の取組

—地域における孤立問題の共有化と予防意識の必要性—

小久保 恵（豊島区社会事業団／専門職大学院2013年卒）



在宅療養支援診療所におけるソーシャルワークの意義

—ソーシャルワークの役割・機能とアプローチの拡大—

木戸 宣子（専門職大学院准教授／院後期2002年卒）

唐木 香子（新宿ヒロクリニックソーシャルワーカー／専門職大学院2004年卒）

ポスターセッション

10:00 ~ 12:00 [A101]

司会者：栗城 秀緒（学部1年）

助言者：児玉 桂子（大学院特任教授）



滝山団地における一人暮らし高齢者の社会関係の実態把握とコミュニティカフェの取り組み

小見 奈那江（学部4年／たきゅう）永江 大祐（学部4年／たきゅう）

八木 紗子（学部3年／たきゅう）



「認知症高齢者に配慮した施設環境づくり支援プログラム」継続のための職員による相互評価の試み

鈴木 真智子（院前期2年）・児玉 桂子（大学院特任教授）

廣瀬 圭子（目白大学）・大島 千帆（社会事業研究所特任准教授／学部特任准教授／院後期2006年卒）

松本 望（院後期3年）



プログラム評価の理論を用いた「精神障害をもつ方の効果をあげる退院促進・地域定着支援プログラム」
実践家参画型試行評価調査

高野 悟史（院前期2年）・大嶋 巍（本学学長／学部教授）・古屋 龍太（専門職大学院准教授）

賀川 信幸（社会事業研究所准教授／専門職大学院准教授）・瀧本 里香（院後期2年／非常勤講師）

中越 章乃（院後期1年）・山下 真史（院前期2年）



障害者就労移行支援事業所における効果的な支援のあり方に関する研究

—実践家参画型の取り組みから—

方 真雅（博士後期1年）・大嶋 巍（本学学長／学部教授）・植村 英晴（大学院特任教授／学部特任教授）

小佐々 典靖（国立リハビリテーションセンター）・片山 優美子（長野大学）新藤 健太（博士後期2年）

全 形文（大学院研究生）・浦野 由佳（上智大学大学院博士前期2年）



障害者就労移行支援事業における取り組み状況の把握と今後の示唆

—全国試行評価調査の結果から—

新藤 健太（博士後期2年）・大嶋 巍（本学学長／学部教授）・植村 英晴（大学院特任教授／学部特任教授）

小佐々 典靖（国立リハビリテーションセンター）・片山 優美子（長野大学）

方 真雅（博士後期1年）・全 形文（大学院研究生）・浦野 由佳（上智大学大学院博士前期2年）



第2日目 6月29日(日)午前中／自主企画



世界から刺激を 世界へ刺激を～海外で学ぶということ 10:00 ~ 12:00 [C301]

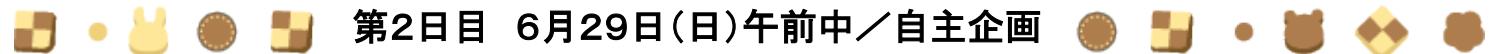


日本社会事業大学学部留学生&教員方へのアンケート結果の紹介

⇒これらを題材に参加者でディスカッション&交流

伊藤 理沙・村田 悠治・菊池 優理恵（学部4年）

原 夏実・菊池 崇志・松岡 健太（学部2年）



第2日目 6月29日(日)午前中／自主企画

社大福祉ネットワーク

10:00 ~ 12:00 [A401]



福祉とお金

今年度、社会保障の充実を図る目的で増税がされました。福祉は増税しなければならないほど、財政が困難な状態におかれているのでしょうか。グループでの話し合いを通して福祉とお金について一緒に考えてみませんか？



シンポジウム 「災害と当事者性」

10:00 ~ 12:00 [C601]

企画者：有村 大士（学部准教授）

司会：菱沼 幹男（学部准教授）・有村 大士（学部准教授）

シンポジスト：北川 進（宮城県社会福祉協議会）・森 郁子（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）・菱沼 幹男（学部准教授）



未曾有の大災害である東日本大震災は、被災地全体に、そして日本社会に大きな影響を与えている。

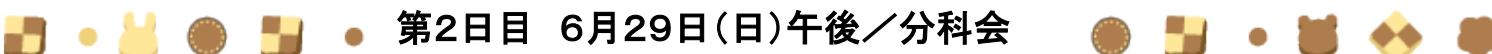
被害の特徴の一つとして、被災者の生活再建に大きな課題を与えており、長引く生活課題にも大きな影響を与えている。被災地で実際に支援にあたるワーカーを迎え、被災地でソーシャルワークを展開するにあたり、当事者の文脈や個別の課題にどのように向き合っていけばいいのか、あるいは東日本大震災の支援からの学びについて検討したい。

報告者交流会

12:00 ~ 13:00 [A101]



分科会一般演題の報告者・司会者・助言者の方には軽食をご用意しておりますので、積極的にご交流下さい。お打ち合わせ、振り返りの会場としてもご活用下さい。



第2日目 6月29日(日)午後／分科会

人材養成と施設職員

13:00 ~ 15:00 [A201]

司会者：菅原 幸次郎（社会福祉法人あすはの会／専修科 1987 年卒）

助言者：辻 浩（学部教授）



福祉業界が大学に期待している人材養成について

—キャリア形成の視点からアンケート調査で見えるもの—

永井 保男（学部特任助教）



ドイツにおける介護・看護分野の補助職（Helper）養成の最近の動向

—ニーダーザクセン州の例を中心に—

高木 剛（浦和大学短期大学部専任講師／院前期 2004 年卒）



介護老人福祉施設のWLB（ワーク・ライフ・バランス）実現に向けた取り組みに関する研究

佐伯 久美子（貞静学園短期大学専攻科介護福祉専攻講師）

災害ソーシャルワークと生活困窮者支援 13:00 ~ 15:00 [A202]

司会者：賀陽 聰思（学部 1 年）

助言者：菱沼 幹男（学部准教授）



“生活困窮者支援の取り組み”

—熊本県玉名郡 4 町（玉東町・和水町・南関町・長洲町）におけるモデル事業を通じて—

芝田 忠博（熊本県庁 熊本県玉名福祉事務所／専門職大学院 2007 年卒）



障がい者の減災対策

—大和市の当事者、事業者向けアンケート結果にみる現状と課題—

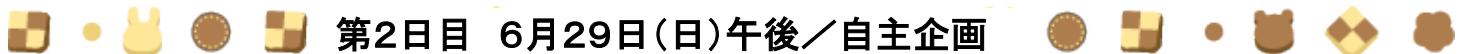
星野 宗吾（社会福祉法人やまねっと 相談支援専門員／通信科 2003 年卒）



被災地のソーシャルワーカーの“声”

佐藤 茉奈（学部 4 年）

小倉 歩美・名取 咲子・森 文香（学部 3 年）



第2日目 6月29日(日)午後／自主企画

日本社会事業学校研究科 52期生

卒後15年の実践を振り返る

13:00 ~ 15:00

[C601]



閉校し10年経つ、日本社会事業学校の研究科とは何だったのか？

どのような学生が入学し、どのようなカリキュラムで、卒後どのような分野に就職したのかの実態を分析する。1998年に卒業した研究科生で、現在権利擁護事業に取り組んでいる田中氏の実践報告や、現場経験のうち、研究に取り組んでいる佐藤氏の研究発表も行う。

佐竹 要平（通信教育科講師／研究科52期卒）

田中 康一（世田谷区社協／研究科52期卒）

佐藤 浩一（院後期1年／研究科52期卒）

清瀬3大学交流研究発表会

13:00 ~ 15:00

[C602]



清瀬三大学（国立看護大学校、明治薬科大学、日本社会事業大学）で共通テーマを各々の分野の視点から見て、職種間の考え方の違いや将来相互により協力し合っていくためにはどうするべきかなどについて意見交換を行う。

国立看護大学校：（Link）／明治薬科大学：（μ stream）／日本社会事業大学：（たんぽぽ）

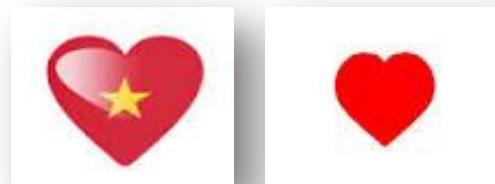
2013年度社大海外ソーシャルワーク研修報告 13:00 ~ 15:00 [A402]

コーディネーター：ヴィラーグ ヴィクトル
（院後期3年）

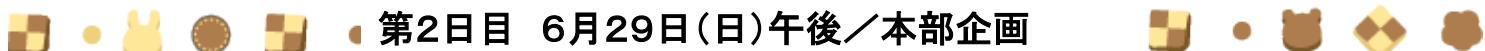


ベトナムにおける国際ソーシャルワーク：子ども・若者支援と人身売買対策

本年度の海外ソーシャルワーク研修では、ベトナムのハノイを訪問し、政治的に社会主義体制を維持しつつ、経済面で急速な成長中の新興国におけるソーシャルワークについて調べた。人口構成からして、若い世代の支援が社会的課題となっているため、子どもの虐待防止や発達障害を含む精神支援と、若者の職業訓練及び就労支援を行っている実践機関を訪ねた。また、インドシナ地域全体で社会問題化している人身売買及びその防止・解決策について情報を得た。これらの取り組みは日本を含む外国政府や国際非政府機関（INGO）による開発援助の対象となっているため、国境を超えて展開されている国際ソーシャルワークについて考察する機会となった。



ヴィラーグ ヴィクトル
VIRAG Viktor（院後期3年）
伊藤 理沙・渡慶次 さくら・前岡 彩夏・室井 友紀子（学部4年）
富岡 高史（学部3年）



第2日目 6月29日(日)午後／本部企画

介護フォーラム

13:00 ~ 15:00

[A401]



介護福祉士のキャリアを考える

—介護福祉開発ユニットの報告と介護福祉コースのホームカミングディー

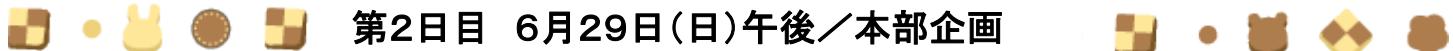
下垣 光（学部准教授）

田中 由紀子（学部准教授）

中島 健一（学部教授）

佐々木 由恵（学部教授）

大島 千帆（社会事業研究所特任准教授・学部特任准教授／院後期2006年卒）



第2日目 6月29日(日)午後／本部企画

社大P SWフォーラム (SST, WRAP, SV分科会) 13:00 ~ 15:00
[C301・C303・C304]

司会者：大山 早紀子（通信教育科助教）
コーディネーター：添田 雅宏（通信教育科講師）

2年前から開催しているS P S フォーラムを学内学会の時期に併せて開催する。精神保健福祉関連の3つのワークショップをおこなう。

ワークショップの内容：

- 精神保健福祉領域で勤務している社大卒業者2名を対象とした教員によるスーパービジョン
- 精神保健福祉領域で必須の援助技術である SST (Social Skills Training) のワークショップ
- 精神障害を持つ人のセルフマネージメントに効果の高い WRAP (Wellness Recovery Action Plan) のワークショップ

佐藤 香奈子（院前期1年／にしむらクリニック／通信科2009年卒）SST担当
名護 麻衣子（駒木野病院／学部2006年卒／通信科2009年卒）SST担当

小川 瑛子（住吉病院／通信科2009年卒）WRAP担当

荻原 由里恵（東京足立病院ハートパル花畠／学部2013年卒）スーパーバイザー

豊子 有純（多摩在宅支援センター円／学部2009年卒）スーパーバイザー

古屋 龍太（専門職大学院准教授）スーパーバイザー

贊川 信幸（社会事業研究所准教授／専門職大学院准教授）スーパーバイザー

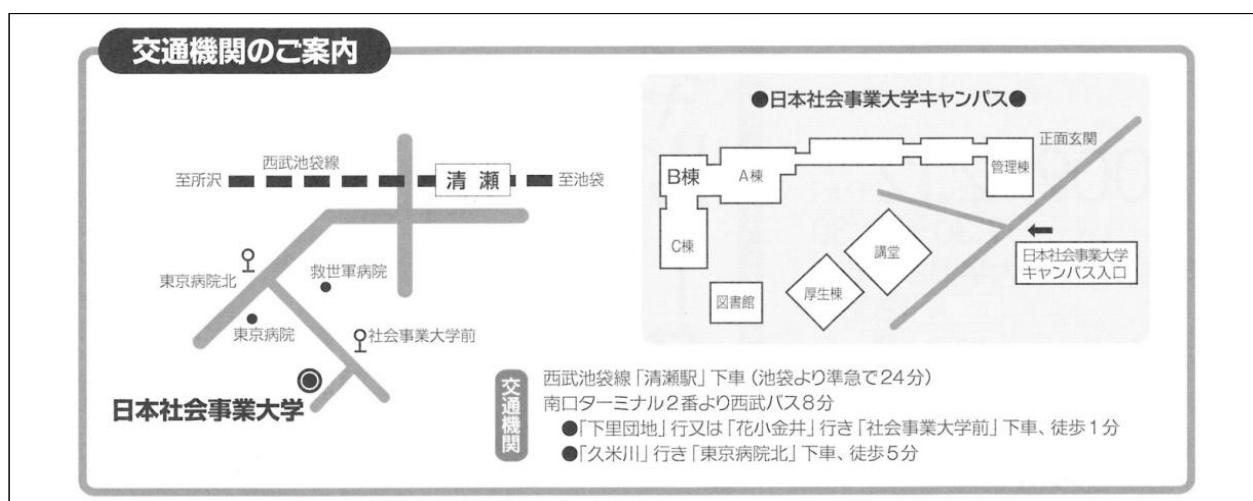
瀧本 里香（院後期2年・非常勤講師）スーパーバイザー

クロージング（ミニシンポ）

15:10 ~ 15:40 [B101]

司 会：古屋 龍太（専門職大学院准教授）

各分科会・セッションの報告をしていただき、全体で共有し、来年の学内学会を展望します
ネームプレート裏面に参加スタンプが4つ以上押された方には、閉会後に先着50名様に粗品を進呈いたします♪



社もむしくん

主 催
後 援
お問い合わせ

学校法人日本社会事業大学／日本社会事業大学社会福祉学会
日本社会事業大学同窓会
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30
学校法人日本社会事業大学 (社会福祉学会事務局)
Tel 042-496-3053 Fax 042-496-3051